



## 漁況情報

### 【5月から】三浦半島西岸各地・小型定置網：アオリイカ

5月から、長井町漁協、湘南漁協佐島支所、湘南漁協葉山支所、小坪漁協所属の漁業者が営む小型定置網でアオリイカが漁獲されています。毎日10kg前後漁獲され、3kg程度の大型個体が漁獲されることもあります。例年5月から7月にかけて漁獲されますが、今年は例年より好漁との声も聞かれます。

小型定置網：共同漁業権に基づきいか猪口網、落とし網及び柵網等、並びに知事許可の小型定置網

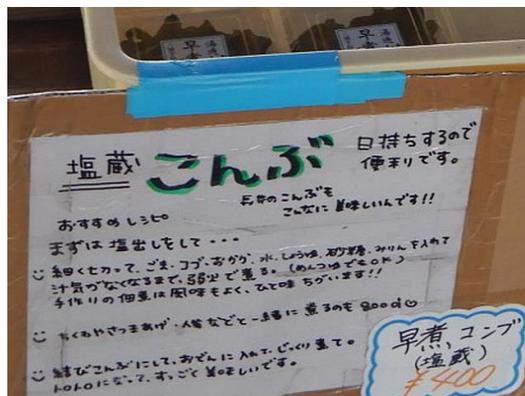
## 浜の話題

### 【5月】長井：養殖こんぶ

5月に、長井町漁協所属の漁業者が養殖こんぶを収穫しました。収穫したこんぶは、乾物として出荷されるほか、湯通し塩蔵にしたものが直売所で販売されています。



湯通し塩蔵こんぶ



直売所での販売

### 【5月10日】江の島片瀬：「はまぐりの資源増殖・管理」勉強会

5月10日、江の島片瀬漁協で「はまぐりの資源増殖・管理」についての勉強会を開催しました。当日は漁業者等20名の参加があり、チョウセンハマグリ（ハマグリ）の生態や湘南漁協藤沢支所のかながわブランド「湘南はまぐり」、湘南漁協鎌倉支所で実施の放流歩金の取組事例等について、担当普及員が説明しました。江の島片瀬漁協でも、はまぐり漁に対する関心は高く、今後はまぐり部会を編成して、貝桁の試験操業や、チョウセンハマグリ（ハマグリ）の資源増殖に取り組んで行くことになりました。



「はまぐりの資源増殖・管理」についての勉強会の様子

## 【5月16日】小田原：カジメ藻場再生活動

5月16日、小田原藻場再生活動組織は役員会を開催し、今年度計画等について話し合いました。また、当日は相模湾試験場の研究員から「タイムラプスカメラによるカジメ食害のモニタリング」について話題提供があり、食害を起こす魚種や食害に遭う時間、場所について、意見交換が行われました。



ブダイによる食害を受けるカジメ

## 【5月22、24日】相模湾各地：チョウセンハマグリ種苗放流

5月22日と24日、相模湾沿岸の各浜で、チョウセンハマグリの種苗(平均32mm、9g)を放流しました。22日に藤沢市の支援を受けて藤沢地先に995kg、24日に同市の支援を受けて江の島片瀬地先に320kg放流しました。24日に小坪、鎌倉、腰越、茅ヶ崎及び平塚において(公財)相模湾水産振興事業団の支援により、腰越及び茅ヶ崎において、(公社)日本水産資源保護協会資源保護協会の補助事業により、鎌倉において(公社)全国豊かな海づくり推進協会の補助事業により、鎌倉において漁業者グループ(鎌倉はまぐり部会)及び平塚において漁協の自己負担により、合わせて小坪で89kg、鎌倉で892kg、腰越で223kg、茅ヶ崎で312kg及び平塚で134kg放流しました。各浜ではまぐり部会を組織して、資源増殖・管理して行こうという動きがあり、漁業者は、3年後には漁獲サイズ(7cm程度)に無事成長するよう期待を込めて放流しました。



ハマグリ種苗放流の様子とハマグリ種苗

## 【5月26日】葉山：ヒラメ種苗放流

5月26日、湘南漁協葉山支所の協力の下、葉山町及び葉山町教育委員会が葉山マリーナで小学生を対象としたヒラメ種苗放流・クルージング体験を開催しました。参加した小学生は、資源管理と環境保全について学び、漁協と(公財)相模湾水産振興事業団の支援により8,000尾の種苗を放流しました(写真:湘南漁協葉山支所提供)。



資源管理の学習



ヒラメ種苗



種苗放流

## 【5月28日】三浦（小網代）：マガキ試食会

5月28日、みうら漁協小網代地区の漁業者が取り組んでいる養殖試験の一環で、成長したマガキの試食会が関係者や地元の住民を招いて開催されました。大きなものでは重さ210gまで育ったカキもあり、試食した参加者たちからは「味が濃くておいしい」「海のミルクって感じ」との評価がありました。



試食されたマガキ

## 【6月6日】横須賀（秋谷、久留和）：チョウセンハマグリ種苗放流

6月6日、湘南漁協佐島支所の秋谷及び久留和地先において、(一財)横須賀西部水産振興事業団の支援により、チョウセンハマグリの種苗(平均60mm、49g)を放流しました。同支所地先では、チョウセンハマグリがあまり分布していませんが、種苗を放流することで、漁につながることを期待しています。